

30	ハンドベル
ビジョン	チーム医療の大切さがわかる良き医療人になる。
ゴール	聴く人も演奏する人も感動できるハンドベル演奏ができる。
理由	その音を担当する一人として、自分が抜けたら音がなくなってしまうという自覚や音・曲の表現力を養うことにより、自己の責任感とメンバーシップ能力を養う。
知の成果物	活動発表会の記録(DVD)
身につく力(目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドベル演奏能力</li> <li>・グループ内での自己責任能力、協調性</li> <li>・コミュニケーション能力</li> </ul>
学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドベルの特徴をとらえて演奏練習</li> <li>・演奏練習の初期、中期、終了直前にビデオを撮り演奏技術の上達度を確認しあう</li> <li>・感動してもらえる演奏ができるようになる</li> <li>・ハンドベルが演奏できるようになり、皆さんに聴いてもらうことで達成感を得る</li> </ul>
活動の特徴	初めてハンドベルを手を持つ方でも丁寧に指導し演奏できるようになります。毎年学生の希望を含め3～4曲を演奏曲とし練習します。
班主任名	久納智子 医療科学部 看護学科
<初回>活動場所	フジタホール2000 5F 西側更衣室1(中)
<通常>活動場所	
<雨天時>活動場所	